

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

| | | | | | | | | | |
|---------|--|---------------------|-------------------|---|---|---|-----------|--------------|-------|
| 事務事業名 | | 民生・児童委員協議会活動助成・支援事業 | | | | <input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連 | | | |
| 総合計画体系 | 政策 | 4 | みんな元気で笑顔あふれるまちづくり | | | 所属部 | 健康福祉部 | 課長名 | 古武城 卓 |
| | 施策 | 17 | 生活困窮世帯の自立支援 | | | 所属課 | 福祉課 | 担当者名 | 狩野紀彦 |
| | 基本事業 | 55 | 生活の支援 | | | 所属班 | 社会福祉班 | (内線) | 2136 |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業連番 | 法令根拠 | 生活保護法 | | |
| | 1 | 3 | 1 | 1 | 10544 | | 成果優先度評価結果 | | |
| 終了、開始年度 | <input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始 | | 事業期間 | | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) | | | | |
| | | | | | | | | コスト削減優先度評価結果 | |

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

| | |
|---|---|
| 【事業の内容】 | 合志市民生委員・児童委員協議会連合会へ補助金を支出した。補助金は東部民児協議会・西部民児協議会それぞれに分配される。両民児協の活動に寄与する。 昭和23年に民生委員法が制定され、協議会が設置された時点から開始している。 ・合志市においても高齢世帯、ひとり暮らし世帯が増加してきている。 ・民生委員児童委員に対する要望が多岐にわたってきており、なかなか手が少なくなってきた。また年齢要件(新任65歳未満、継続75歳未満)があったがH19年度緩和された。 ・平成19年度に3年ごとの一斉改選が実施された。国からの指針が遅れたため、定数の見直しが出来なかった。市南部地域での10月補選も平成20年度の改選に協議を重たいことが必要 |
| (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む) | |
| 【業務の流れ】 | ①合志市民生委員・児童委員協議会連合会から事業承認申請書を受理②審査③補助金の内示④補助金交付申請書を受理⑤補助金の交付決定、通知⑥概算払申請書を受理⑦補助金の交付⑧実績報告書を受理⑨補助金の確定、通知(合志市補助金等交付規則による)⑩県補助金申請事務⑪協議会定例会、役員会への参加(東部・西部とも24回) |
| 【主な予算費目】 | 補助金 |
| 【意見や要望】 | ・協議会からは補助額を増額して欲しいとの要望を聞いている ・県外研修を予定しているため、補助額を増額して欲しいとの要望を聞いている。 ・近隣市町村の補助金と比較して高い現状がある。 ・民生委員に対して無理な要望をする市民もあり、なり手の減少に拍車をかけているところもある。 |
| 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? | |

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

| | |
|--|---------------------------------------|
| (1) 事務事業の目的と指標 | |
| ① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO) | 22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) |
| 民生・児童委員の活動に対し補助金を交付した。定例会・部会へ出席した。改選に向けての地区割り、増員等の協議を行う。 | H21年度同様。改選後についてもち区割り等、増員等の協議は継続させていく。 |
| ④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) | ⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) |
| → ア:申請・受付・交付決定・支払い・実績報告、処理時間 H | イ:定例会・各部会開催回数 回 |
| ② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 | ⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) |
| ①民生委員児童委員協議会 | → ア:出席率 % |
| ②民生委員児童委員 | → イ: 人 |
| ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) | |
| ①民生委員活動を円滑に行える | |
| ②民生委員活動を円滑に行われるように、その活動に必要な知識を入手できる | |
| *⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 出席率は両単位民協とも高い。実績から勘案して設定をした。 | |

| | | | | | | | | | |
|-----------------|----------------|---------|------------|------------|--------------|------------|--------------|--------|--------|
| (2) 各指標・総事業費の推移 | | 単位 | 19年度実績(決算) | 20年度実績(決算) | 21年度目標(当初予算) | 21年度実績(決算) | 22年度目標(当初予算) | 23年度予定 | 24年度見込 |
| ④ 活動指標 | ア H | | | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | |
| | イ 回 | | | 40 | 40 | 40 | 40 | 40 | |
| ⑤ 対象指標 | ア 人 | | | 85 | 85 | 85 | 94 | 94 | |
| | イ | | | | | | | | |
| ⑥ 成果指標 | ア % | | | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 | |
| | イ | | | | | | | | |
| 投資入量 | 事業内訳 | 国庫支出金 | 千円 | | | | | | |
| | | 都道府県支出金 | 千円 | | | | | | |
| | | 地方債 | 千円 | | | | | | |
| | | その他 | 千円 | | | | | | |
| | | 繰入金 | 千円 | | | | | | |
| | 一般財源 | 千円 | | 8,957 | 8,629 | 9,048 | 9,048 | 9,048 | |
| | (A) 事業費計 | 千円 | | 0 | 8,957 | 8,629 | 9,048 | 9,048 | 0 |
| | (A)のうち指定経費 | 千円 | | | | | | | |
| | (A)のうち時間外、特勤 | 千円 | | | | | | | |
| 人件費 | 正規職員従事人数 | 人 | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | 延べ業務時間 | 時間 | | 80 | 80 | 100 | 80 | 80 | |
| | (B)人件費計 | 千円 | | 320 | 318 | 398 | 318 | 318 | 0 |
| | トータルコスト(A)+(B) | 千円 | | 0 | 9,277 | 8,947 | 9,446 | 9,366 | 9,366 |

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

| | | | | | |
|-------|---------------------|-----|-------|-----|-----|
| 事務事業名 | 民生・児童委員協議会活動助成・支援事業 | 所属部 | 健康福祉部 | 所属課 | 福祉課 |
|-------|---------------------|-----|-------|-----|-----|

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

| | | | |
|---------|---|--|--|
| 目標達成度評価 | ①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？ | <input checked="" type="checkbox"/> 達成した | <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷ |
| | ②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷ | <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ |
| 有効性評価 | ③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？ | <input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ | <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ |
| | ④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ | <input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ | <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷ |
| 効率性評価 | ⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ |
| | ⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ | <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ |
| 公平性評価 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ | <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ |
| 役割分担評価 | ⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ | <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ |

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

H20年度より担当職員ができたことにより、更に自立した運営を支援することができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

補助金の削減と人員の増員が重なっていくので、効率を図る必要がある。

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

| | | | | |
|----|----|-----|----|----|
| | | コスト | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 |
| 成果 | 向上 | ○ | | |
| | 維持 | | | △ |
| | 低下 | | △ | △ |

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

年齢要件で縛りはあるものの、地域の人材を幅広く発掘する必要がある。そのためには区長会との連携をとり発掘に努めていく必要がある。
交付申請等の事務効率を図る。